

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	情報科学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時間	前期 金曜3限又は4限	教室名	PCルーム他
担 当 教 員	①BSC ②島崎拓則	実務経験と その関連資格			
《授業科目における学習内容》					
この授業では、学生がコンピュータの基本操作に習熟することはもちろん、Officeソフトの利用だけにとどまらず、現代社会において必須となるデータ分析やAI技術の基礎を学ぶことを重視します。データの活用方法を学び、実践を通じて在学中および卒業後の情報処理スキル向上を図ります。					
《成績評価の方法と基準》					
①定期試験100%で評価					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
①「コンピュータキャリアトレーニング」※イーラーニングコンテンツ:対面授業、オンライン(ライブ)、オンデマンドの3つの授業形態(ハイフレックス型授業)で、テキストや動画を見ながら学生が独学できるようデザインされた教材です。講義は基礎分野と応用分野に分類されています。②情報科学(医歯薬出版株式会社)					
《授業外における学習方法》					
①自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。 欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。 ②自宅で復習を必ず行い知識の定着に努めてください。					
《履修に当たっての留意点》					
出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	講座を受講する意義を理解し、IT・DXリテラシーを知り、情報を正しく活用できる	CCT入門 IT・DXリテラシー	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	CCT講座を受講する意義、IT・DXリテラシーを学ぶ、IT・DXリテラシー理解度テストの実施		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	クラウドの特徴を理解し、活用できる	CCT入門 PCクラウド活用	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	Officeアプリ/OneDrive(ファイル共有)/メールマナー/Teams(共同編集)		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	Windowsの基本操作ができる	CCT入門 PC基本操作	タイピング練習をすることで予習復習を行う。
		各コマにおける授業予定	マウス・タッチパッド操作/ファイルの管理/タイピングの基礎/キーボードの機能(ショートカット等)		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	検索力を身につけ、問題を解決できる	CCT入門 検索力・生成AI	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	検索ツールの使い分け/画像検索/Web上の情報の信ぴょう性/生成AIについて/滋慶学園ガイドラインに沿ったAI活用		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	Webコミュニケーションについて正しく理解できる	情報モラル	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	Webコミュニケーションの危険と対策、モバイル機器の活用と管理		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	文書作成の基本的な操作ができる	Wordダイジェスト	イーラーニングテキストで講義の内容を確認することができます。
		各コマにおける授業予定	文書作成の基本的な流れ/ページ設定/文字の書式設定/図形・画像などの挿入/表の作成/ページ罫線		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	Wordの機能を利用して学科ニュース(新聞)を作成することができる	学科ニュース作成	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	学科ニュース(新聞)を作成		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	Word基礎で習ったことを実践できる	Wordまとめ	イーラーニングテキストでこれまでの講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	Word復習問題の実施		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	企業や施設が求める表計算ソフトの基本操作ができる	Excel基礎1 基本操作	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	オートフィル/数式の作成/SUM関数/グラフ作成/印刷		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	関数を駆使した資料を作成できる	Excel基礎2 数式と関数基礎	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	割合を求める/相対参照と絶対参照/AVERAGE関数/COUNTIF関数/シートの操作		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	グラフを駆使した資料を作成できる	Excel基礎3 グラフ基礎	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	目的に応じたグラフ作成/グラフのレイアウト/行や列の挿入/グラフの編集		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	データベース機能を理解し活用できる	Excel応用A データベース	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	データベースとは/データを並べ替える/フィルター/ウィンドウ枠の固定/大きな表を効率よく印刷する		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	応用的な関数を活用できる1	Excel応用B 関数応用1	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	RANK.EQ関数/SUMIF関数/TODAY関数/NOW関数/DATEIF関数		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期で習ったことを実践できる	Excelまとめ	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	Excel復習問題の実施		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ・復習	まとめ・復習	イーラーニングテキストでこれまでの講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	まとめ・復習の実施		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	情報科学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期 ●曜●限	教室名	PCルーム他
担 当 教 員	①BSC ②島崎拓則	実務経験と その関連資格				

《授業科目における学習内容》

この授業では、学生がコンピュータの基本操作に習熟することはもちろん、Officeソフトの利用だけにとどまらず、現代社会において必須となるデータ分析やAI技術の基礎を学ぶことを重視します。データの活用方法を学び、実践を通じて在学中および卒業後の情報処理スキル向上を図ります。

《成績評価の方法と基準》

①定期試験100%で評価

《使用教材(教科書)及び参考図書》

①「コンピュータキャリアトレーニング」※イーラーニングコンテンツ:対面授業、オンライン(ライブ)、オンデマンドの3つの授業形態(ハイフレックス型授業)で、テキストや動画を見ながら学生が独学できるようデザインされた教材です。講義は基礎分野と応用分野に分類されています。②情報科学(医歯薬出版株式会社)

《授業外における学習方法》

①自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。
欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。
②自宅で復習を必ず行い知識の定着に努めてください。

《履修に当たっての留意点》

出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	コンピュータの五大装置について説明できるようになる	教科書	教科書を事前に読んで内容を確認しておくこと
		各コマにおける授業予定	演算装置、制御装置、記憶装置		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	コンピュータの五大装置について説明できるようになる	教科書	教科書を事前に読んで内容を確認しておくこと
		各コマにおける授業予定	入力装置、出力装置		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	外部装置のインターフェースについて説明できるようになる	教科書	教科書を事前に読んで内容を確認しておくこと
		各コマにおける授業予定	コンピュータと接続するインターフェースの種類と特徴		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	処理方法の種類について説明できるようになる	教科書	教科書を事前に読んで内容を確認しておくこと
		各コマにおける授業予定	コンピュータが処理を行う方法の種類と特徴		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	処理方法の種類を説明できるようになる	教科書	教科書を事前に読んで内容を確認しておくこと
		各コマにおける授業予定	コンピュータが処理を行う方法の種類と特徴		